

令和5年度 学校運営方針

1. 教育方針

家庭や地域、関係機関と積極的に連携して創出された豊かな教育環境の下、社会的自立の基礎を身に付けた、夢と誇りを持つ児童生徒の育成を図る。

2. 教育目標

夢と誇りを持ち、持続可能な社会を創る児童生徒の育成

3. 児童生徒行動指針

やさしく

かしこく

たくましく

4. 基本的な考え方

(1)「夢を持つ」とは

自己の目標や価値観を理解し、生き生きと未来を描くこと。

(2)「誇りを持つ」とは

崇高な物事への感動や、自然や先人の功績等人のつながりへの感謝を通じて、自己の存在価値を尊く思うこと。

(3)「持続可能な社会を創る」とは

環境や貧困、人権や平和など取り組まなければならない地球規模の課題の解決に向け、他者と協力し、グローバルな視点から新たな価値観や行動様式を創出すること。

5. 目指す学校像

(1) 学びを大切にし、活力と笑顔に満ちあふれる学校

(2) 失敗を恐れず、目標に向かって努力し、将来に夢が持てる学校

(3) 確かな学力を身に付けることができる学校

6. 目指す児童生徒像

「持続可能な社会の実現を目指して、事象を多面的に理解し、自分で思考し、行動する児童生徒」

(1) やさしく

① 自己を大切にすると共に相手を尊重する児童生徒

② 美しいもの、崇高なものを素直に受け止め、自己の学びにつなげる児童生徒

③ 生きとし生けるもの全ての生命を大切にする児童生徒

(2) かしこく

① 知的好奇心を発揮し、主体的に学習に取り組み、学ぶ楽しさや達成感を味わう児童生徒

② 自己の目的に合わせ、より多面的な情報を取捨選択し、深く考え判断する児童生徒

③ 日本国やベトナム国をはじめとする世界の歴史と情勢を知り、未来についてグローバルな視野に立って対応する児童生徒

(3) たくましく

- ①社会に適応しながら、自己の生き方を実現するために心と体を鍛える児童生徒
- ②困難や苦しさを自分の学びに変える気概を持ち、諦めずに努力する児童生徒
- ③他者のために生きるという高い志を持ち、何があろうとも他者を大切に行動する児童生徒

7. 目指す教職員像

- (1) 児童生徒一人一人の思いや状況に寄り添い、指導及び支援をし、児童生徒の学びに生きがいや喜びを感じることができる教職員
- (2) 自己が他者を信頼し、他者からも信頼される教職員
- (3) 自己を客観的に理解し、謙虚な姿勢で学び続ける教職員

8. 重点努力事項【持続可能な社会の実現を目指して行動する児童生徒の育成】

(1) 夢と志誇りのある教育

人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む教育活動を推進する。

(2) 豊かな心の育成

道徳科を中心に、生命を大切にし、物事を多面的・多角的に捉えることで自己及び他者を大切に作る心情を育む教育活動を推進する。

(3) 健やかな体の育成

体力の向上を目指した運動を日常化すると共に健康への関心を高め、望ましい生活習慣の定着化を推進する。

(4) 確かな学力の育成

児童生徒が自ら課題を見付け、自ら解決するための授業を以下のように推進する。

- ①基礎的知識・技能の定着を図るために児童生徒一人一人の認知特性に応じたきめ細かな授業
- ②体験的な学習や学習における試行錯誤を大切にし、児童生徒の問題解決能力の育成を目指す授業
- ③児童生徒が他者との違いを受け入れ、互いに認め合い、主体的・対話的な学習を通して、深い学びができる授業

(5) 安全・安心の確保

児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることのできる環境作りを以下のように推進する。

- ①自己の命を守り、安全を確保するための授業
- ②保護者、地域、関係機関等との連携を図り取り組む安全確保対策
- ③学校安全マニュアルを常に整備・見直し、危機管理を共有・実践できる教職員体制